

**変われば  
トコロ  
スイス**

賃貸住宅の間取り  
といえば、日本であれば「2LDK」や「3LDK」といった感じで表示されるのが一般的ですが、スイスでは「1・5部屋」とあります。

スイスの「0・5部屋」の謎  
はどんな部屋なのでしょう。気になりますよね。スイスによる動産会社の話によると、「0・5部屋」については厳密な定義はないらしいのです。

スイスの住宅には地下室があることもあります。それともう一つ、下室があることもあります。日本とは違う点です。

トコロスイスには、地下シェルターの謎もあるらしい。

## History of life 住まいの歴史

# 大工道具、日本と世界の違い。

中学生の時、「技術」の授業を貢献に受けた方、日曜大工が趣味の方ならもちろんすぐにお判りだと思いますが、

素早く正確に木材を切り、削り、美しく磨き上げ、鮮やかな手さばきで家を立ち上げていく大工さん、一度は憧れたことがあります。今回はそんな大工さんたちの卓越した技術を支える大工道具をクローズアップ。日本と世界の大工道具の違いについて見てみましょう。

**押す、引く、日本はどうづづ?**

日本のノコギリは引いて切れます。古墳時代に大陸から入ってきたノコギリは6世紀頃から、刃の山が使う人の方に傾いて、手前に引くチカラを使って切るようにならに変化しました。ところが、世界の多くの国では、古代ローマ以来、ノコギリは押して使うもので、それでもそちらの方が多いです。

見ていて惚れ惚れ

**カンナをカス  
タマイズ?**

ひとつに「カンナがひつけ」があります。シミカルで小気味よい音と共に美しく削られていく木肌と、カンナから透き通るほど薄いカンナ屑が踊る様は、さすが職人技です。

見えていて惚れ惚れ

**素手で勝負!**

木材などに細かな穴をあける「キリ」も世界標準タイプとなりますが、日本風は異なります。

日本では、手前

に握る手の指で、手前

に握る手の指で、手前